



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場会社名 TOA株式会社
 コード番号 6809 URL <http://www.toa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 井谷 憲次
 (氏名) 田中 利秀

上場取引所 東大
 TEL 078-303-5620

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,044	10.4	2,113	106.6	2,112	125.7	1,164	731.5
23年3月期第3四半期	22,675	7.0	1,023	111.4	936	74.4	140	63.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 787百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △288百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	34.38	—
23年3月期第3四半期	4.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	36,080		28,432		76.2
23年3月期	36,313		28,347		75.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 27,507百万円 23年3月期 27,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,100	5.2	2,900	10.9	2,800	10.1	1,600	74.7	47.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	35,536,635 株	23年3月期	35,536,635 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,665,671 株	23年3月期	1,666,134 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	33,870,454 株	23年3月期3Q	33,875,928 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、東日本大震災の復興に向けた回復がみられるものの、急激な円高の進行による企業収益の悪化もみられ、依然として不透明な状況が続いております。海外では、アジアの一部地域では景気の拡大がみられますが、欧州の財政危機問題等もあり予断を許さない状況にあります。

このような環境の下、日本国内では、非常用、防災関連の放送システムや監視カメラ等のセキュリティ商品などの売上が伸張しました。海外につきましては、為替の円高基調により、邦貨換算による売上額の目減りはありましたが、前期に販売会社を設立したアジア・パシフィック地域などの売上が伸張しました。

これらの結果、売上高は25,044百万円（前年同四半期比+2,368百万円、10.4%増）となりました。利益については売上の伸張や、販売費及び一般管理費の抑制効果により営業利益は2,113百万円（前年同四半期比+1,090百万円、106.6%増）、経常利益は2,112百万円（前年同四半期比+1,176百万円、125.7%増）、四半期純利益は1,164百万円（前年同四半期比+1,024百万円、731.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は16,500百万円（前年同四半期比+1,789百万円、12.2%増）、セグメント利益（営業利益）は3,209百万円（前年同四半期比+802百万円、33.3%増）となりました。

国内需要に持ち直しの兆しがあり、自治体への防災告知システムや大型商業施設の放送設備の納入に加え、監視カメラ等のセキュリティ商品の販売が順調に推移したことにより売上高は伸張しました。また利益面では、売上の伸張に加え生産コストの低減効果もあり、セグメント利益は増加しました。

(アメリカ)

売上高は1,468百万円（前年同四半期比△61百万円、△4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は20百万円（前年同四半期比+45百万円）となりました。

特定市場に絞り込んだ営業活動を行いました。為替の円高影響による売上高の減少があり、売上は伸び悩みました。利益面では、販売費及び一般管理費の減少もあり、セグメント利益は増加しました。

(欧州・ロシア)

売上高は2,902百万円（前年同四半期比+65百万円、2.3%増）、セグメント利益（営業利益）は427百万円（前年同四半期比+180百万円、72.7%増）となりました。

欧州地域では財政再建による混迷が依然懸念されるものの、市場に密着した各販売拠点の営業力強化に注力し、販売が堅調に推移したことに加え、営業費用の削減もありセグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は2,589百万円（前年同四半期比+351百万円、15.7%増）、セグメント利益（営業利益）は381百万円（前年同四半期比+271百万円、246.7%増）となりました。

前連結会計年度に設立したインドネシア販売会社及びタイ販売会社での販売が順調に推移したことで売上高は伸張しました。利益面では、売上高の増加が固定費の増加を吸収し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,582百万円(前年同四半期比+223百万円、16.5%増)、セグメント利益(営業利益)は175百万円(前年同四半期比△8百万円、△4.4%減)となりました。

中国の堅調な設備需要により、大型物件の仕様化によるシステム提案を進めましたが、工場の原価率の上昇や販売会社の販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益は減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して233百万円減少しました。資産の部では売上債権の回収が進み831百万円減少したことなどにより減少しました。負債及び純資産の部では、仕入債務の減少172百万円や、配当金の支払い612百万円などにより減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,459	11,823
受取手形及び売掛金	6,929	6,097
有価証券	900	900
商品及び製品	3,622	4,590
仕掛品	462	722
原材料及び貯蔵品	1,592	1,811
その他	1,075	1,175
貸倒引当金	△112	△46
流動資産合計	26,931	27,074
固定資産		
有形固定資産	5,991	5,948
無形固定資産	849	764
投資その他の資産	2,541	2,293
固定資産合計	9,382	9,005
資産合計	36,313	36,080
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,113	2,941
短期借入金	255	232
未払法人税等	273	148
引当金	607	461
その他	1,261	1,375
流動負債合計	5,511	5,159
固定負債		
長期借入金	68	53
退職給付引当金	1,789	1,792
その他	595	642
固定負債合計	2,454	2,488
負債合計	7,965	7,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	17,752	18,239
自己株式	△966	△966
株主資本合計	28,931	29,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450	330
為替換算調整勘定	△1,912	△2,241
その他の包括利益累計額合計	△1,462	△1,911
少数株主持分	878	924
純資産合計	28,347	28,432
負債純資産合計	36,313	36,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	22,675	25,044
売上原価	12,161	13,307
売上総利益	10,514	11,736
販売費及び一般管理費	9,491	9,623
営業利益	1,023	2,113
営業外収益		
受取利息	15	20
受取配当金	33	34
受取保険金及び配当金	26	27
その他	59	51
営業外収益合計	133	133
営業外費用		
支払利息	11	10
為替差損	196	115
その他	12	8
営業外費用合計	220	134
経常利益	936	2,112
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
関係会社株式売却損	28	—
製品保証引当金繰入額	384	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩額	36	—
特別損失合計	465	—
税金等調整前四半期純利益	480	2,112
法人税等	288	803
少数株主損益調整前四半期純利益	192	1,309
少数株主利益	52	144
四半期純利益	140	1,164

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192	1,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△120
為替換算調整勘定	△482	△401
その他の包括利益合計	△480	△522
四半期包括利益	△288	787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△264	715
少数株主に係る四半期包括利益	△23	71

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・ ロシア	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,711	1,529	2,837	2,238	1,358	22,675	—	22,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,703	18	23	1,789	1,783	7,319	△7,319	—
計	18,415	1,548	2,860	4,027	3,142	29,994	△7,319	22,675
セグメント利益又は損 失(△) (営業利益又は営業損 失(△))	2,407	△24	247	110	183	2,923	△1,900	1,023

(注) セグメント利益の調整額△1,900百万円には、セグメント間取引消去98百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,999百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・ ロシア	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	16,500	1,468	2,902	2,589	1,582	25,044	—	25,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,652	24	1	2,074	1,829	7,581	△7,581	—
計	20,153	1,492	2,904	4,663	3,412	32,625	△7,581	25,044
セグメント利益 (営業利益)	3,209	20	427	381	175	4,214	△2,101	2,113

(注) セグメント利益の調整額△2,101百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,095百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。